

言い訳の論理を客観的に見直すために自分の心理を言語化する。			
教案番号	21	対象	小学校低学年
分野	心理	タイトル	言い訳
時間	3人で30～40分		
指導のねらい	叱られた時に子どもがよく言う「今やろうと思っていた。」「みんなやっている。」という言い訳をしたときの気持ちを客観的に見直してみる。		

## 【1】授業の流れ

具体的活動内容	
1. 今やろうと思っていた	<p>①ずっと遊んでいるのを見かねた母親に「早く宿題やんなさい！」と言われ、「今やろうと思っていたもん。」と言い訳したことはあるか。</p> <p>②本当に今すぐやろうと思っていたか。</p> <p>③なぜ「今やろうと思っていた。」と言ったのか。</p> <p>④母親にどう言われたらそんな言い訳をしなかったか。</p>
2. みんなやっている	<p>①毎日たくさん宿題（計算問題）が出るので、電卓を使っていたら母親に「そんな物使うんじゃないの！」いきなり叱られた。その時、子どもが「だってみんなやってるもん。」のように「みんなやっている」という言い訳をしたことがあるか。</p> <p>②本当にクラスの全員がやっていたのか。本当は何人ぐらいやっていたのか。</p> <p>③なぜ、全員じゃないのに「みんな」と言ったのか。</p> <p>④「みんながやっていたらいい」と言えるか。</p> <p>⑤母親にどう言われたらそんな言い訳をしなかったか。</p>
3. 意見文にするとどうなるかを知る	<p>①今まで考えてきたことを文にした児童の意見文を読む。</p> <p>②空欄に入る適切な語を選びながら読むことで、読むだけの単調さ（受動性）を薄めてみた。</p> <p>* 低学年とはいえ、国語の教科書では高度と思われる説明文に触れている。しかし、それは「すでに仕上がった」ものを読んでいるのであって、どのような経過を辿って書かれたのかは分からない。そこで、1・2とを考えてきたことが説明（意見）文になるとどうなるのかを伝えるようにした。「話し合ってきたことが、こうして説明（意見）文になるのか。」と感ずることが、自分で「意見を表明しよう」と思って書く作文のベースになるはずである。</p> <p>* 本単元では、意見文の「定型」として当財団で指導している「主・理・根・反・結」作文のパターン踏んだ意見文を使った。</p> <p>「主・理・根・反・結」作文とは、まず冒頭で「主張」を書いておき、その「理由」「根拠」などを書き、自説を否定する読者の意見を取り込んだ形で「反論」をしておき、最後にもう一度主張「結論」を書いておくというパターンを踏む作文の型であり、一つの型が身に付くと書きやすくなる。自由作文ではその児童の力（センス）に頼る所が大きく、「指導」にはなりにくいと考えている。</p>

## 【2】次ページより教材例を提示（指導者用に続き、子ども用を掲載）

- 1 お母さんは <sup>かあ</sup>遊んでいて <sup>あそ</sup>しゅくだいを <sup>し</sup>しろうも  
ない <sup>はなこ</sup>花子さんを見つけると、すぐに「<sup>あそ</sup>遊んでばかり  
いないで、<sup>はや</sup>早くしゅくだいを やりなさい！」と  
しかったです。すると、<sup>はなこ</sup>花子さんもすぐに「<sup>いま</sup>今  
やろうと <sup>おも</sup>思っていたもん。」と <sup>い</sup>言い返しました。



- ① <sup>はなこ</sup>花子さんは <sup>いま</sup>ほんとうに「<sup>いま</sup>今やる」つもりで <sup>おも</sup>いたと思いますか。

後でやるつもりだったと思うけど、今やろうとは思っていなかったのではないか。

- ② <sup>はなこ</sup>花子さんは、なぜ <sup>い</sup>すぐに <sup>い</sup>そんな言いわけを <sup>い</sup>したのでしょうか。

お母さんが見つけて (理由も聞かず) すぐに叱ったからだと思う。

- ③ <sup>かあ</sup>お母さんは <sup>い</sup>どう <sup>い</sup>言ったらよかったと <sup>おも</sup>思いますか。

「今日、宿題はないの。あとでやるの。」と聞いてくれればよかった。

- ④ そのように <sup>かあ</sup>お母さんに <sup>い</sup>言われたら、<sup>はなこ</sup>花子さんは <sup>い</sup>どのように  
<sup>こた</sup>答えればよいですか。

「今日、宿題はあるけど、あとでやるのでだいじょうぶ。」と答えればよい。

2 たろうくんは、毎日たくさん計算問題のしゅくだいが出るので、  
電たくを使って計算していたら、お母さんに見つかってしまいました。  
お母さんはいきなり「何してんの！。はずかしい。そんなことをする子は、うちの子ではありません！」とはげしく  
しかりました。すると、たろうくんは友だちのけんたくんも



電たくを使っていることを思い出して、  
「みんなだって やってるもん。」と言  
いわけを しました。

① たろうくんは「みんな」と言っていますが、けんたくんのほか  
クラスみんなが電たくを使っていると 思いますか。

毎日たくさん宿題が出るから、使っている人もいるかもしれないけど、クラス皆ということはないと思う。

② お母さんの しかりかたを どう 思いますか。

また、あなたなら たろうくんに 何と言いますか。

電卓を使っている訳も聞かないで、いきなり叱るのはよくないと思う。「うちの子ではない」というのも言いすぎ。

まず、電卓を使っている訳を聞き、使わないと宿題が終わらないほどたくさんあるなら、できるところまでやればいい。それで先生に叱られたらお母さんが先生に説明してあげるから、電卓を使うのはやめなさいと言ってあげるといい。

③ このプリントで勉強した三男くんは、つぎの ような作文を書きました。 [ ] に入る ことばを [ ] から えらんで 文を かんせいさせましょう。

三男くんの心の声：まず言いたいことを言ってしまう。

主張 じぶんが わるいののに [ ① ] をするのは、よくありません。

三男くんの心の声：つぎに、理由を言っておかないとな。

理由 わるいことは わるいと [ ② ] と、まわりの人から [ ③ ] されなくなってしまうからです。

三男くんの心の声：そうそう。こういう ことだって あるよな。

根拠 言いわけばかり していると、そのうち 友だちも はなれて 行って しまいます。

三男くんの心の声：言いわけを したくなる気持ちにも 答えておこう。

反論 たしかに、言いわけしたくなる 気持ちも 分かります。でも、そんな時でも すぐに [ ④ ] で、ゆっくりと せつめいするように しましょう。

三男くんの心の声：最後にもう一度、大切なことを言っておこう。

結論 とにかく、言いわけは あまり よいけっかに つながらないので やめようと ぼくは 思います。

しんよう 言いかえさない みとめない 言いわけ

1 お母さんは <sup>かあ</sup>遊んでいて <sup>あそ</sup>しゅくだいを <sup>し</sup>しろうも  
ない <sup>はなこ</sup>花子さんを見つけると、すぐに「<sup>あそ</sup>遊んでばかり  
いないで、<sup>はや</sup>早くしゅくだいを <sup>やり</sup>やいなさい！」と  
しかったです。すると、<sup>はなこ</sup>花子さんもすぐに「<sup>いま</sup>今  
やろうと <sup>おも</sup>思っていたもん。」と <sup>い</sup>言い返しました。



① <sup>はなこ</sup>花子さんは <sup>いま</sup>ほんとうに「<sup>いま</sup>今やる」つもりで <sup>おも</sup>いたと思いますか。

② <sup>はなこ</sup>花子さんは、なぜ <sup>い</sup>すぐに <sup>い</sup>そんな言いわけを <sup>した</sup>したのでしょうか。

③ <sup>かあ</sup>お母さんは <sup>い</sup>どう <sup>い</sup>言ったらよかったと <sup>おも</sup>思いますか。

④ そのように <sup>かあ</sup>お母さんに <sup>い</sup>言われたら、<sup>はなこ</sup>花子さんは <sup>い</sup>どのように  
<sup>こた</sup>答えればよいですか。

2 たろうくんは、毎日たくさん計算問題のしゅくだいが出るので、  
電たくを使って計算していたら、お母さんに見つかってしまいました。  
お母さんはいきなり「何してんの！。はずかしい。そんなことをする子は、うちの子ではありません！」とはげしく  
しかりました。すると、たろうくんは友だちのけんたくんも



電たくを使っていることを思い出して、  
「みんなだって やってるもん。」と  
わけを しました。

①たろうくんは「みんな」と言っていますが、けんたくんのほか  
クラスみんなが電たくを使っていると 思いますか。

②お母さんの しかりかたを どう 思いますか。

また、あなたなら たろうくんに 何と言いますか。

③ このプリントで勉強した三男くんは、つぎの ような作文を書きました。  に入る ことばを  から えらんで 文を かんせいさせましょう。

三男くんの心の声：まず言いたいことを言ってしまおう。

じぶんが わるいののに  ① をするのは、よくありません。

三男くんの心の声：つぎに、理由を言っておかないとな。

わるいことは わるいと  ② と、まわりの人から  ③ されなくなってしまうからです。

三男くんの心の声：そうそう。こういう ことだって あるよな。

言いわけばかり していると、そのうち 友だちも はなれて 行って しまいます。

三男くんの心の声：言いわけを したくなる気持ちにも 答えておこう。

たしかに、言いわけしたくなる 気持ちも 分かります。

でも、そんな時でも すぐに  ④ で、ゆっくりと せつめいするように しましょう。

三男くんの心の声：最後にもう一度、大切なことを言っておこう。

とにかく、言いわけは あまり よいけっかに つながらないので やめようと ぼくは 思います。

しんよう 言いかえさない みとめない 言いわけ